

○蕾軒獨語 (其四十九)

蕾軒 朝比奈泰彦

Y. ASAHINA.

○パウリア、ブラータ吾國ニ産ス On *Paulia pullata* Fée from Japan.

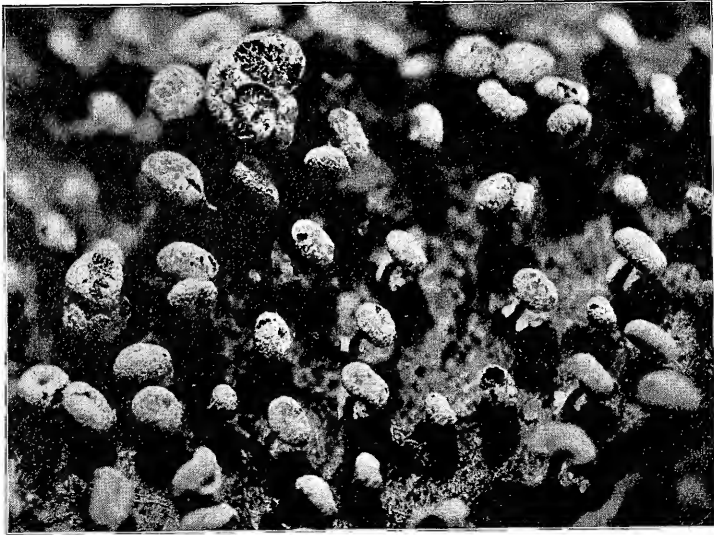
昭和六年八月土佐國横倉山ニ於テ藤川福二郎君ハ一珍種ヲ發見シタ、本地衣ハ石灰岩ニ着生シ乾燥時ハ暗褐色ヲ呈シ表面ヨリ見レバ殆ド放射狀ニ分枝シ裏面中央ノ臍部ニテ基物ニ着生シ周圍ノ徑一・一五「センチ」アリ葉體ノ厚サハ約一「セ、メ」、分枝ノ幅ハ一・一五「ミリ」兩側内屈シテ裏面槌狀ヲナス、先端ハ多少幅廣クシテ邊緣缺刻アリ濕潤時ハ伸ビテ全體幅廣マリ多少扁平トナル傾向アリ、地衣體ハ皮部ヲ缺キ「ゴニヂア」ハ混層(Homomerous)シキサントカ、サ藻ニ屬シ藻細胞ハ卵形又ハ橢圓形藍綠色ニシテ大サ約 $10 \times 8 \mu$ ヲ算シ厚キ粘液層ヲ被リ此粘膜ハ表面ニ近キモノ黃色ニ染マル、菌絲ハ極メテ疎ニ排列シ各端「ゴニヂア」粒ニ附着スルコトヲ明視スベシ、子器ハ多數アリ葉體ニ埋没シ盤ハ淡黃赤色ヲ呈シ成熟スルニ從ヒ開張ス其徑〇・二五—〇・三「ミリ」アリ之ヲ縱斷スレバ子殻ハ殆ド發達セズ子囊上層ハ帶黃色、子囊層ハ殆ド無色デ沃度ニヨリ呈色セズ、子囊下層ハ淡黃色、絲狀體ハ細クシテ分離シ子囊ハ圓筒狀大サ $100 \times 13 \mu$ アリ八子ヲ納ル、胞子ハ無色橢圓形一室、厚膜ヲ有シ長サ $18 \times 13 \mu$ アリ、粉子器ハ未見ナリ

以上ノ特徴ヲ Reinke (Jahrb. f. wiss. Bot. Bd. XXVIII, p. 276-277.) 及 Nylander (Syn. I, p. 98.) ノ記載及圖ト比較シ *Paulia pullata* Fée ト鑑定シタ、Fée ノ「タイプ」品ハボリネシアラフタ島産ノモノデ其後マリアナデモ採集サレテ居ル、然シ茲ニ注意ヲ要スルコトハ Zahlbruckner 博士ハ Pflanzenfamilien 第二版第八冊第一五四及一五九頁ニ於テ *Paulia* (モノタイプ) ハ子囊ニ六子ヲ納レ胞子ハ二室ナリト明記シテ居ル、而シテ Reinke ハ外形ト葉體組織トヲ圖記シテ居ルガ胞子ニツイテハ一言モナイ、又 Nylander ハ圖ヲ出サナイガ

○一新地衣じんむじさらごけ (神武寺皿苔) *Gyalecta* (sect. *Secoliga*) *japonica* nov. sp.

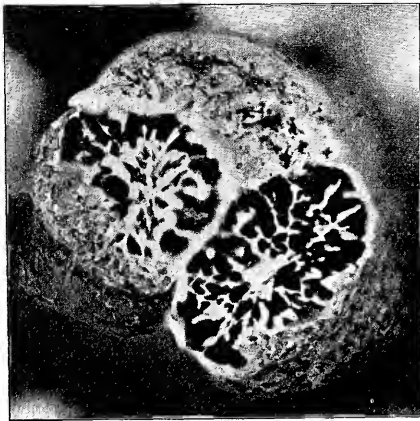
ナツテ居ルカラ除外スベキデアロウ

地衣體ハ岩石ニ固着シ褐綠色ヲ呈シ表面ニ龜裂アリ皮層ヲ被ラズ、「ゴニデア」ハトレンテポーリア藻ダ黃綠色ヲ呈シ球形又ハ橢圓形デ數箇連絡スルコトアリ「ヘマトクローム」ハ顯著デアアル、子器ハ多數生ジ徑 $0.5-0.8$ 「ミリ」皿形ヲナシ子殻ハ殆ド無色、側壁ハ内卷シ盤ハ淡肉紅色ヲ呈シ凹入セリ、之ヲ縦斷スレバ子殻ハ無色ノ菌絲緻密ニ編ミ込マレ「ゴニデア」ヲ含マズ、子囊層ハ淡黃色ヲ呈シ高サ七 $0-190$ μアリ沃度ニヨリテ藍色ニ染マル、子囊上層ハ無色子囊下層ハ淡黃色、絲狀體ハ單一ニシテ分枝セズ隔膜ナク先端僅ニ膨脹ス、子囊ハ紡錘狀ニシテ大サ $35-40 \times 15-25$ μアリ八子ヲ二列ニ含ム、胞子ハ無色デ紡錘狀ノ主體ト長キ線狀ノ尾トヨリナリ主體ハ長サ一八 -20 μ幅二 -3 μアリ横ニ三隔アリ尾ハ其下端ヨリ長サ二五 -30 μ幅一μ位ノ細線トナリ生ズ、此ノ如キ形狀ハ一見發芽セントスル胞子トモ見ラル、ガ幼稚ナル胞子モ亦尾ヲ有スルニヨリ其固有性ト認定シタ、歐洲產 *Gyalacta* (sect. *Secoliga*) *bacidiospora* (BIRNIE) A. ZAHNBROCKNER ノ胞子が長尾ヲ有スルコトハ



第一圖

Badhamia affinis Rosstr. ノ全形 (十倍大)



第二圖

同上ノ一部 (四十倍大)

子囊體ハ普通
樹皮上ニ散點
シテ發生シ柄
ノ有ルコトト
無キコトトア
ル、子囊ハ輪
廓ハ圓ク上下
兩面共ニ扁平
ナル者ト裏面
ガ少シク臍狀
ニ凹メル者ト

○日本變形菌譜

其七

同一ノ結論ヲ肯定スル一理由トナル(歐文欄ノ圖參照)
右ノ記載ハ主トシテ原君ノ材料ニヨリ行ヒタルガ其後山
本篤君ノ神武寺採集標本中ヨリ昭和二年二月二十七日附
ノ同一標本ヲ見出シタリ

○*Babhamia affinis* ROSTAFINSKI

理學博士 服部廣太郎